

令和2年度指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

施設名	大和市障害福祉センター 松風園
指定管理者	社会福祉法人大和しらかし会 理事長 春日 恵美子
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

(ア) 指定管理事業の実施状況

	児童発達支援センター 第1松風園に関する業務	知的障害者生活介護型施設 第2松風園に関する業務
事業実施日数	233日	265日
在籍児者	41人	59人
延利用人数	7,568人	12,258人

(イ) 自主事業の実施

日中一時支援事業（障がい児者の預かり事業）や、地域住民を対象とした公開講座などの自主事業が実施されました。

【参考：日中一時支援事業】

	障がい児日帰り対応型	障がい者日帰り対応型
延べ利用人数	990回	1,309回
利用者数	41人	24人

(ウ) 施設管理

毎日実施	施設内清掃
定期実施	年16回：エレベーター点検 年13回：小荷物専用昇降機点検 年12回：自家用電気工作物巡視点検 年4回：自動ドア点検、害虫駆除 年2回：空調機整備・点検・冷暖房切替、エアハンドリングユニットフィルター清掃、木部床面清掃、長尺シート清掃、カーペット・絨毯清掃、ガラス清掃、調理室レンジフード清掃、グリストラップ清掃、消防設備点検、非常用放送設備点検 年1回：電気設備精密点検、高架水槽等清掃、ガスレンジバーナー清掃
不定期実施	年3回：樹木消毒・剪定

2. 収支決算概要

(単位：円)

<経常活動による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	48,500,000	18,400,000	1,000,000	67,900,000
	介護給付費・児童施設給付費 (法令等に基づき国等が指定管理者に支払った給付費)	118,848,301	175,061,186	0	293,909,487
	利用者負担金 (法令等に基づき利用者が指定管理者に支払った負担金)	55,200	0	0	55,200
	補助金収入	1,208,778	1,310,253	500,000	3,019,031
	その他の事業収入	0	3,300	0	3,300
	特定費用	1,750,410	2,659,030	0	4,409,440
	保険等査定減	-7,784,875	0	0	-7,784,875
	その他 (寄付金・雑収入等)	1,939,738	4,535,886	4,373	6,479,997
	計	164,517,552	201,969,655	1,504,373	367,991,580
支出	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料・諸手当・法定福利費・役員報酬など)	121,046,220	155,384,509	1,106,759	277,537,488
	事務費 (指定管理者が支払った施設管理などの委託費など)	23,422,377	15,986,958	1,056,771	40,466,106
	事業費 (指定管理者が支払った給食費や水道光熱費、送迎の委託費など)	8,697,027	18,524,430	819,484	28,040,941
	その他支出 (利用者等外給食費支出)	2,202,176	3,429,119	0	5,631,295
	計	155,367,800	193,325,016	2,983,014	351,675,830
収支差額		9,149,752	8,644,639	-1,478,641	16,315,750

<施設整備等による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	施設整備等収入	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
支出	固定資産取得支出	833,800	1,037,630	0	1,871,430
	計	833,800	1,037,630	0	1,871,430
収支決算		-833,800	-1,037,630	0	-1,871,430

<その他の活動による収支>

		第1松風園	第2松風園	本部	計
収入	積立資産取崩収入(退職給付引当資産取崩収入)	72,240	483,930	0	556,170
	サービス区分間繰入金収入	0	0	11,500,000	11,500,000
	計	72,240	483,930	11,500,000	12,056,170
支出	投資有価証券取得支出	0	9	10,660	10,669
	積立資産支出	1,592,700	1,850,100	0	3,442,800
	サービス区分間繰入金支出	6,000,000	5,500,000	9,000,000	20,500,000
	その他の活動による支出	220,000	220,000	0	440,000
	計	7,812,700	7,570,100	9,010,660	24,393,460
収支決算		-7,740,460	-7,086,170	2,489,340	-12,337,290

	第1松風園	第2松風園	本部	計
収支差額合計	575,492	520,839	1,010,699	2,107,030

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和3年8月2日に福祉行政にかかわる指定管理者評価委員会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

【第1松風園事業】

- 臨床発達心理士や理学療法士、作業療法士、看護師などの専門職員を配置し、様々な障がいに対応できる体制を整えることで、利用者の特性に合わせたきめ細やかな支援を行うとともに、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。
- 新型コロナウイルスにより登園を差し控える家族・利用児に対し、安心して自宅にとどまれるよう在宅支援を実施していることは評価できます。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、分散等を取り入れながら家族会を開催し、園の取組み等について情報提供をするとともに、保護者から意見聴取を行い、サービス向上に努めているほか、保護者に対する学習会等を実施している点は評価できます。
- 週5日利用に加え、週2から3日利用のグループも設定して保育所や幼稚園併用の希望にも応じるなど、利用ニーズへの対応、延べ利用児数や利用率の向上に努めている点は評価できます。

【第2松風園事業】

- 専門職員を配置し、利用者の特性に合わせて細やかな支援を行うことにより様々な障がいに対応できる体制を整えることで、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。
- テレビ台部品の箱詰め作業や自主製品作業等の授産作業を通じて社会参加の機会を提供し、工賃を支給することで報酬を得る喜びを感じてもらえるようにしていることは、利用者のサービス向上につながっていると評価します。
- 送迎事業を実施し、重度障がいの利用者や送迎手段がない利用者も平等に施設を利用できるよう努めています。
- オンブズパーソンとの面談、家族会や個別面談を通じて利用者や保護者から意見聴取を行い、サービス向上に努めています。
- コロナ禍においても日々通い続けることを希望される利用者のため、感染症対策を行いながら土曜日の開園を継続し、利用ニーズへの対応、延べ利用者数や利用率の向上に努めている点は評価できます。

【共通】

- 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら法人内研修会を実施したり、オンライン等で外部の研修に参加するなど、職員の資質向上に努めています。

【独自事業】

- 保育所等訪問支援事業や障害児相談支援事業を行い、児童発達支援センターとしての専門的機能を生かした効果的な事業実施に努めています。
- 保育所等訪問支援事業では、保育園・幼稚園・小学校・中学校など幅広く訪問を実施し、専門的支援を行っている点は評価できます。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

【第1松風園事業】

- 新型コロナウイルス感染防止のため、行事の中止を余儀なくされた中でも、利用児の社会経験拡大のために代替行事を行ったり、将来の自立に向けた保護者学習会を行っている点は評価できます。
- 個々の利用児の行動観察、理学療法による運動発達に対する支援、作業療法による日常生活を

支える体の使い方や道具の使い方についての支援等により、利用児支援の充実を図っている点は評価できます。

【第2松風園事業】

- ・ 理学療法士及び作業療法士による身体機能の評価と機能訓練を実施したり、補装具や車椅子の調整など専門的な助言により病院等と連携している点は評価できます。

【共通】

- ・ 地域の拠点としての役割を担うため、コロナ禍でも定員を設ける等しながら、地域住民や保護者を対象とした地域生活支援公開講座や自閉症療育講座を実施している点は評価できます。
- ・ 利用児者の家族を含め総合的に支援するため、他の事業所との連携を強化し、より複合的な取り組みとなるよう努めていくことが必要と考えます。

【独自事業】

- ・ 保育所等訪問支援事業の中で、障がい児のもつ困難さを理解し、より良いコミュニケーションがとれるよう、保育者向けにティーチャーズ・トレーニングを法人事業として実施している点は評価できます。
- ・ 児童発達支援センターの地域支援の一環として訪問相談事業を立ち上げ、民間保育園に対し、訪問相談を実施している点は評価できます。
- ・ 施設の空きスペースを利用し、利用者や家族の状況に合わせた日中一時支援事業を実施しています。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

【施設の維持及び管理】

- ・ 『公共建築物「管理マニュアル」』に基づく定期点検を実施しており、適切な施設の維持管理が行われています。
- ・ 「大和市環境マネジメントシステム」に基づき、環境に配慮した施設運営が行われています。

【防災の取り組み】

- ・ 自衛消防訓練（火災や地震を想定）を定期的に行っています。
- ・ 利用児者と職員分190名、3日分の防災食及び防災用品を備えているほか、大規模災害に備えて衛星電話を設置しています。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・ 関係団体の主催する研修会や外部研修に職員を派遣するなど職員の資質向上に努めています。また、研修内容は職員会議で報告し、情報の共有化を図っています。
- ・ 事業収支は、自立支援給付費収入増等により、令和元年度と比較して収入増となりました。支出面では、人件費、食材費、コロナ対策費の増加等による事業費の増加はありますが、安定した財務状況と判断しています。